

1998年12月5日
インフォテリア株式会社

インフォテリア、世界初の BeOS 用 XML エンジンを開発

BeOS^{*1} のマルチメディアネットワーク環境を支える重要技術が充実

インフォテリア株式会社(本社:東京都大田区、代表取締役社長:平野洋一郎)は、1998年12月5日^{*2}、同社の高性能 XML エンジン iPEX^{*3}(アイペックス)の BeOS 版である「iPEX for BeOS」を開発し、1999年第1四半期中に提供を開始することを発表しました。iPEX for BeOS は、世界初の BeOS 用 XML 処理エンジンであり、BeOS 用アプリケーションの XML 対応を促進することにより、マルチメディアネットワーク環境における BeOS の適用領域を広げます。

米国 Be 社の開発支援担当副社長の Frank Boosman 氏は、「Infoteria's iPEX is a great addition to the BeOS family of products. iPEX will help our third-party developers bring XML-enabled software products to market. XML, or eXtensible Markup Language, enables content developers to create customized markup languages for exchanging information in their area of expertise, such as music or video production. iPEX is an important addition to our concept of a specialized operating system targeted at digital media creation.」^{*4}と語り、iPEX for BeOS の BeOS 環境での重要性を述べられました。

インフォテリアの平野洋一郎社長は、「BeOS を iPEX の対応環境に加えることは大変意義深いことです。来るべきマルチメディアネットワーク時代には、BeOS はその地位を確立し、XML はネットワーク上のデータを交換するためのキーテクノロジーとなっているでしょう。iPEX for BeOS は、あらゆる BeOS 用アプリケーションを簡単に XML 対応にすることができます。それによって、ユーザーは、インターネット上のマルチメディアデータを BeOS 上で処理したり、BeOS 上で制作したマルチメディア作品をインターネット上で共有することが容易になります。ユーザーは、データ交換の制約のために使用する OS を制約されるということなく、目的に最適の OS を選ぶことができるようになります。」と語りました。

iPEX は、XML 処理に必要な機能を網羅しており、アプリケーションソフトウェアに組み込むことで、そのソフトウェアを簡単に XML 対応にすることができます。iPEX は、下記のような特長をもち、ライブラリ形式で提供される予定です。

- XML 処理に必要な機能を網羅 (読み込み、解析、編集、保管)
- ハイパフォーマンス (C++による実装)
- DOM (Core) Level 1 (W3C 勧告) 準拠
- アプリケーションでの実装を容易にする拡張インターフェイス
- Namespaces for XML (W3C 勧告) 対応
- ソースコードの提供

iPEX for BeOS は、BeOS Release 4.0J (Intel 版)以上で稼働し、1999 年第 1 四半期中に出荷を開始する予定です。

米国 Be 社は、Jean-Louis Gassée 氏が 1990 年に創立したソフトウェア会社で、次世代のデジタルコンテンツやメディアデザインツールのための新しい基盤の構築に注力しています。米国およびヨーロッパの著名なエンジニアと経営陣とともに、既存のコンピュータアーキテクチャの限界を取り去り、新しいレベルのプライスパフォーマンスを提供していきます。

インフォテリア株式会社は、国内初の XML 専門ソフトウェア会社として、1998 年 9 月に設立されました。インフォテリアは、先進の XML 技術をベースに、XML 普及を促進するソフトウェアコア部品製品、企業間やエレクトロニックコマースでのデータ交換を XML ベースで行なうためのツールとサーバー製品などを提供していきます。

###

Infoteria および iPEX は、インフォテリア株式会社の商標です。Be および BeOS は、米国 Be Incorporated の登録商標です。

<用語説明 / 注釈>

- *1:BeOS
(ビー オーエス)
- 米国 Be 社が開発した、マルチメディアに特化した新しいオペレーティングシステム。「メディア OS」というコンセプトのもと、過去のしがらみに縛られることなく、先進の技術を開発の当初から取り込み、デジタルマルチメディアを快適に利用できる OS として設計、開発された。
- 参考情報
<http://www.be.com/>
- *2:1998年12月5日
- 日立製作所 FLOLA Prius 330J BeOS 搭載モデルの発売日。BeOS Release 4.0J が最初に世に出る日となる。なお、BeOS Release 4.0J パッケージ版の出荷は、12月19日の予定。
- 参考情報
<http://FLORAcity.hitachi.co.jp/be/>
- *3:iPEX
(アイベックス)
- Infoteria Processing Engine for XML の略。
- 参考情報
<http://www.infoteria.com/jp/da.cgi?page=ipex>
- *4:Frank Boosman 氏のコメントの抄訳
- 「インフォテリアの iPEX により、BeOS 対応製品にすばらしい製品が追加されることとなります。この製品により、(BeOS の) サードパーティ開発者は XML 化されたソフトウェアを提供できるようになります。コンテンツ開発者は、XML (eXtensible Markup Language) により、音楽やビデオなどの作品を交換するための特別なマークアップ言語のカスタマイズが可能になります。つまり、iPEX は、デジタルメディア制作に特化したオペレーティングシステムという我々のコンセプトを広げる重要な製品です。」

<お問い合わせ先>

記事掲載用 : info@infoteria.co.jp (電子メール)
http://www.infoteria.com/ (ウェブサイト)

以上